

このまちの100年

「岡崎」

岡崎は徳川家康の生誕地としても知られる城下町。江戸期に東海道が整備されると宿場町としても発展しました。八丁味噌・花火などの伝統産業のほか、明治期以降は繊維、戦後は自動車関連などの工業も発達しました。



明治末期

乙川に架かる殿橋。明治末期には、岡崎馬車鉄道が橋上を走っていた



大正期

大正元年に開業した岡崎電気鉄道は、殿橋の隣に架けられた電車専用橋を渡っていた



昭和6年

昭和6年に開設された岡崎競馬場。現在の愛知県立岡崎工科高等学校の東、長池付近にあった



昭和10年頃

本町付近から南、殿橋方面を望む。三河鉄道岡崎線(のちの名鉄岡崎市内線)の路面電車が走っている



昭和10年

高台から望む岡崎市街



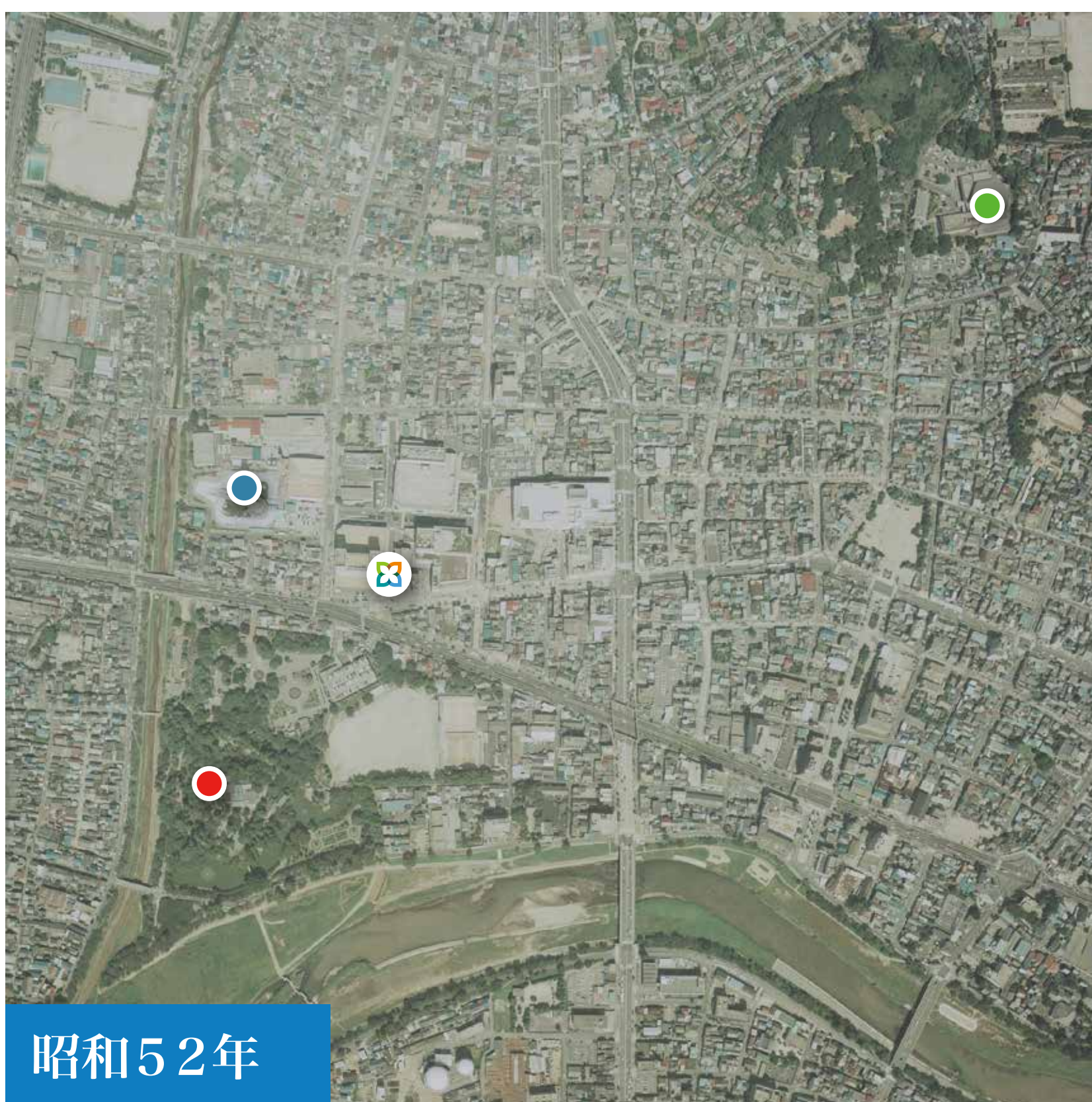
昭和26年頃

現在の殿橋は昭和2年に竣工したもの。昭和37年まで名鉄岡崎市内線も通っていた

上空からみた岡崎エリア



昭和23年



昭和32年



平成22年

● : 岡崎市立連尺小学校／岡崎スポーツガーデン／図書館交流プラザ りぶら ● : 岡崎市立高等学校／岡崎市民会館 ● : 岡崎城址／岡崎城

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ